

項書換元系における再帰経路順序の視覚化

1はじめに

項書換元系(TRS)の停止性判定は完備化手続などに必須な手續を定めて説明する。再帰経路順序(RPO)[2]は適用範囲の広い順序であることが知られているが、関数記号間に先行(Precedence)順序と呼ばれる半順序を必要とし、この順序は計算により求めることができないため、適切な先行順序を与えることが必要である。我々は項の視覚化手法を拡張し、RPOの直観的理解を可能にする視覚化手法を提案する。それに基づき先行順序を定めることを支援するユーザインターフェースを作成した。

河口 信夫

大橋 達哉

坂部 俊樹

稻垣 康善(名古屋大学)

2再帰経路順序(RPO) 図1: RPOの視覚化

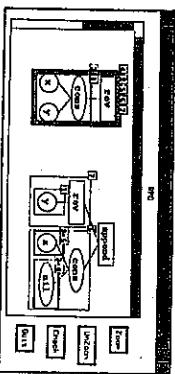


図1: RPOの視覚化

TRSについて[1]等を参照されたい。RPOについてもここでは重要な定義のみを挙げ、多重集合順序等は文献[2]を参照されたい。

[定義2.1] *Recursive Path Ordering*: RPO (Dershowitz '82). 関数記号の集合 F に半順序 \prec が与えられた時、 $RPO \prec_{rpo}$ は次のよう に定義される。ここで $\prec_{rpo} = \prec^rpo$ による多重集合順序である。
 $s = f(s_1, \dots, s_n) \prec_{rpo} g(t_1, \dots, t_n) = t$
 が成り立つのは以下のいずれかが成り立つときである。

- (1) $s_i \prec t$ となるある ($i = 1, \dots, n$) が存在する。
- (2) $f \succ g$ かつ $s \succ_{rpo} t$ がすべての $j (= 1, \dots, n)$ で成り立つ。
- (3) $f = g$ かつ $\{s_1, \dots, s_n\} \succ_{rpo} \{t_1, \dots, t_n\}$ が成り立つ。□

3再帰経路順序の視覚化
 RPOは先行順序ならびに多重集合順序を用いて走められ、その上、順序が成立する場合が3通りあるため、直観的に理解することが非常に困難である。我々の提案するRPOの視覚化は(1)順序付けを行う2項を同時に視覚化、(2)個々の部分項の比較を項を用む形で表す、(3)項の対応を数字で表す、(4)順序が成立した場合(3通りのいずれか)を枠の色で区別することによって直観的理解を深めることに成功している。図1はRPOの視覚化例である。

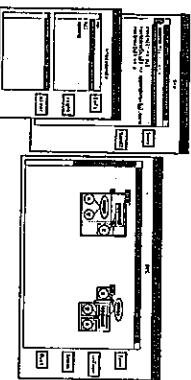


図2: 先行順序決定支援システム

図2: 先行順序の決定。(3)RPOの視覚化、の3つのウインドウを持つ。こ のシステムにより、関数記号間の順序を定め、規則を個々に視覚化してRPOで順序つけがなされることを確認し、TRSの停止性の証明を行なうことができる。先行順序の決定は、特にマウスによるエディタ

フェーズを採用したため、RPOの視覚化を確認しつつ実行錯誤が容易に行なえる。なお、本システムの実現には並列関数型言語である ConcurrentML およびeXene ライブリヤーを用いている。

5まとめて視覚化を拡張して再帰経路順序の視覚化手法を提案した。このRPO の視覚化により、順序が成立する場合の直観的理解が可能になり、先行順序の決定の支援システムが作成できた。今後の課題としては、現在は順序付けに成功した部分をすべて同時に表示しているが、問題のある場所のみを表示したり、階層的な表示を行うなどの拡張が考えられる。また、より強力な順序であるPath Ordering[3]も、RPOと同様に先行順序を必要とするため同様の視覚化による支援が可能であろう。

- 参考文献
- [1] Huet, G.: "Confluent Reductions: Abstract Properties and Applications to Term Rewriting Systems", J.ACM, Vol.27, No.4, pp797-821 (1980).
 - [2] Dershowitz, N.: "Termination of Rewriting", J. Symbolic Computation, Vol.3, pp69-116 (1989).
 - [3] Kopur, D., Naroditsky, P., Sivakumar, G.: "A path ordering for proving termination of term rewriting systems", LNCS 135, pp173-187 (1985).
 - [4] 河口、坂部、稻垣: "グラカル・カール・イン・ターフェースを持つ項書換元系の解析・変換支援環境", 儒教技術, S593-44(1994).